

帝キネ芦屋現代映畫
原作脚色並監督者
撮影者

山形屋伊太郎

二宮義勝氏

歌川藤間
花田林太郎氏
草氏八重子娘
河慶大森勝氏
かね子娘

妻お千代
弟彌一
藝妓高子
山形屋直齋
高利貸

解説 | 「あの山戀し」について大森勝氏が監督製作した現代劇である。
筋 | 山形屋伊太郎は毎夜毎の放蕩に少しも家を顧みず妻お千代はその淋しさを堪え乍ら我家大事と仕へてゐた。伊太郎の弟彌一はふさじたことから藝妓高子を馴染み遂に金に窮し高利貸しより金を借りたがその返済に心を痛めてもうた。それを知ったお千代は大いに同情し自分の持物を賣り拂つたりして二人の爲めに盡つやつたがある日父直齋はお千代の留守に尋ねて可疑ひなかけ彼女を強く叱責した。意を決した彼

「眞愁」帝キネ大森勝氏作品。右より
眞 歌川八重子娘と藤間林太郎氏



女はすべて我が罪として詫びた。陸で聞いてあ
二人は相抱いてこの世を去つた。我へ歸つてあ
るの恐しさを覺りお千代の手を取つてその罪を詫
びたのであつた。